



Your dreams. Woven together.

2012年6月期 第2四半期 決算説明

2012年2月14日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



目次

1. 2012年6月期(上期)連結決算の概要

2. 2012年6月期(通期)連結業績見通し



2012年6月期(上期)決算のポイント

■ 売上高は7,899百万円(前年同期比 $\Delta 0.4\%$)とほぼ横ばい

● 増収分野: 医療機器分野 減収分野: 産業機器分野

- | | | |
|------|---|---|
| 増収要因 | { | <ul style="list-style-type: none"> - メディカル事業を中心とした取引の増加 ~主に日本・欧州市場の売上高が増加~ |
| 減収要因 | { | <ul style="list-style-type: none"> - 円高・ドル安・ユーロ安の為替の影響による売上高の減少($\Delta 192$百万円) - 第2四半期以降のタイ国における大規模な洪水の影響 - 国内直販化に向けた代理店の倉庫在庫圧縮に伴う供給縮小の影響 |

■ 円高・タイ洪水等の影響を受けるも営業・経常利益は期初計画を上回る水準

● 売上総利益は5,428百万円(前年同期比 $+3.9\%$) (粗利率 68.7% 前年同期比2.8ポイント上昇)

- 収益性の高いメディカル事業の売上が好調に推移
- タイ洪水に伴うタイ工場の操業停止中の固定費などを特別損失に振替処理

● 営業利益は1,741百万円(前年同期比 $\Delta 3.7\%$)

- 開発強化に伴う研究開発費用(916百万円)の増加 (前年同期比+75百万円、売上高比率11.6%)
- 営業関係費用の増加など

● 経常利益は1,728百万円(前年同期比 $+0.8\%$)

- 営業外費用に円高の影響による為替差損(44百万円)を計上(前年同期比 $\Delta 81$ 百万円)

● 四半期純利益は609百万円(前年同期比 $\Delta 53.3\%$)

- 災害に伴う保険金収入(504百万円)を特別利益に計上
- 災害に伴う損失(1,156百万円)を特別損失に計上

※「災害保険金」及び「災害による損失」は全額ではなく、現在までに判明・確定した一部のみを計上



決算ハイライト

	2011年6月期 2Q累計実績		2012年6月期 2Q累計実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2011/8/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		期初計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	7,930	100.0	8,310	7,899	100.0	△30	△0.4	△410	△4.9
売上総利益	5,224	65.9	5,403	5,428	68.7	+203	+3.9	+24	+0.5
営業利益	1,809	22.8	1,560	1,741	22.0	△67	△3.7	+181	+11.6
経常利益	1,714	21.6	1,559	1,728	21.9	+14	+0.8	+168	+10.8
(四半期) 純利益	1,306	16.5	1,127	609	7.7	△696	△53.3	△517	△45.9
EPS	82.41円	-	71.10円	38.46円	-	△43.95円	-	△32.64円	-



セグメント別売上高

	2011年6月期 2Q累計実績		2012年6月期 2Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	6,346	80.0	6,542	82.8	+196	+3.1
デバイス事業	1,584	20.0	1,357	17.2	△226	△14.3
合計	7,930	100.0	7,899	100.0	△30	△0.4

(参考)

医療機器分野	7,067	89.1	7,180	90.9	+113	+1.6
産業機器分野	863	10.9	719	9.1	△143	△16.6

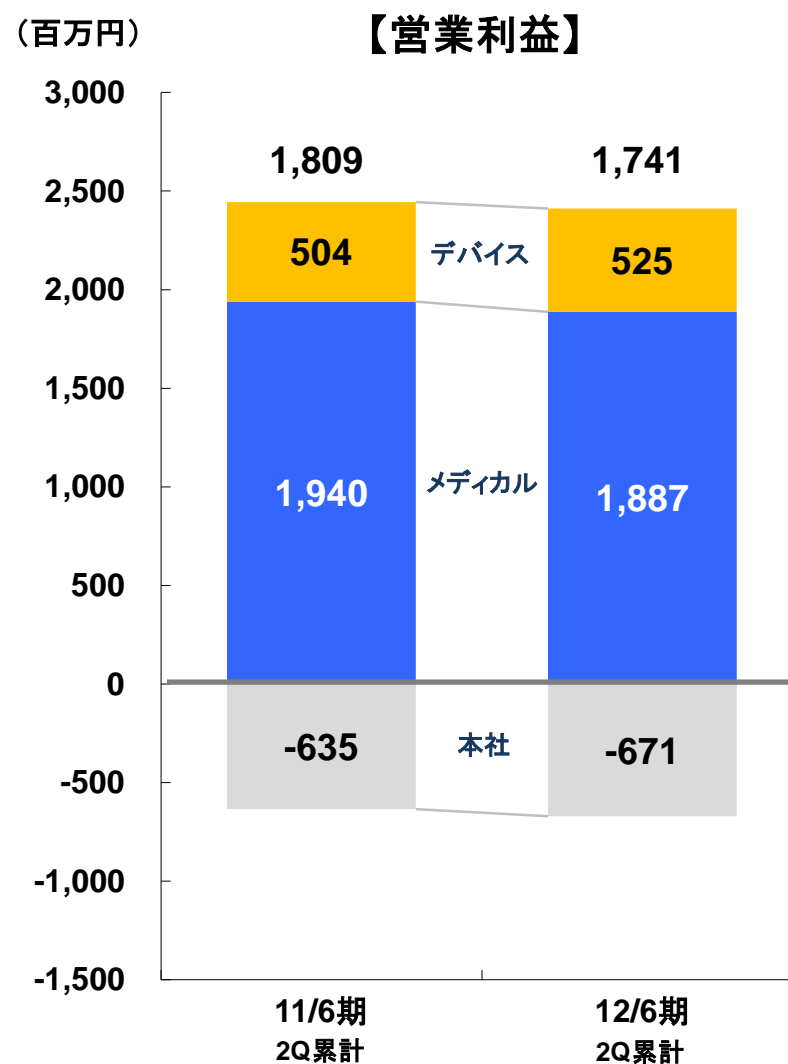
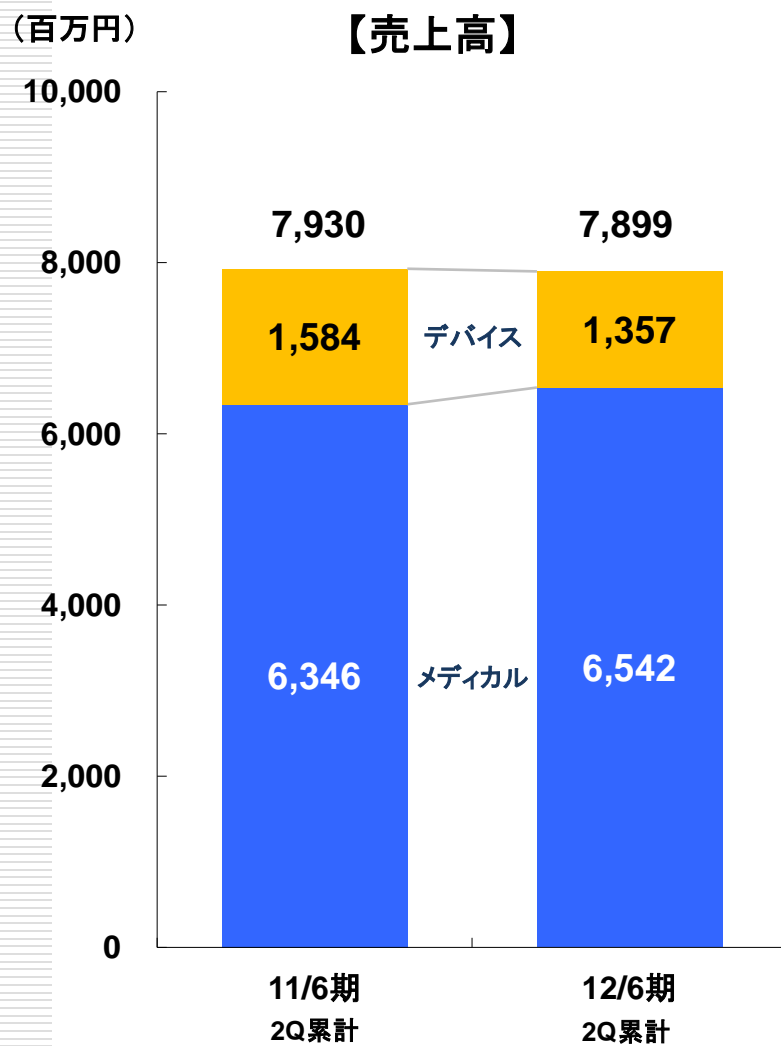


セグメント別営業利益

	2011年6月期 2Q累計実績		2012年6月期 2Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	1,940	79.4	1,887	78.2	△52	△2.7
デバイス事業	504	20.6	525	21.8	+21	+4.3
計	2,444	100.0	2,413	100.0	△30	△1.3
消去・全社	△635	-	△671	-	△36	+5.8
合計	1,809	-	1,741	-	△67	△3.7

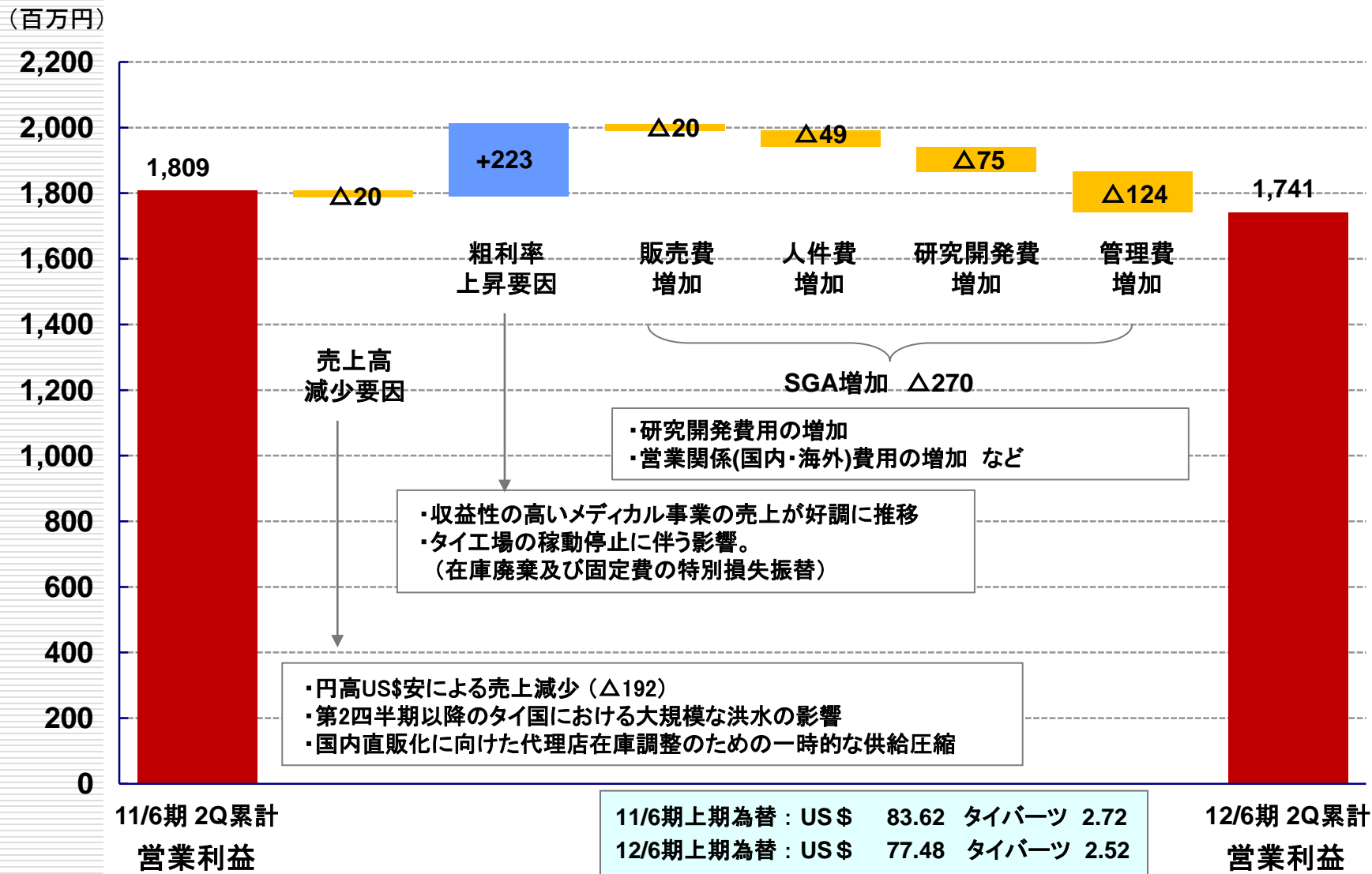


セグメント別の収益状況





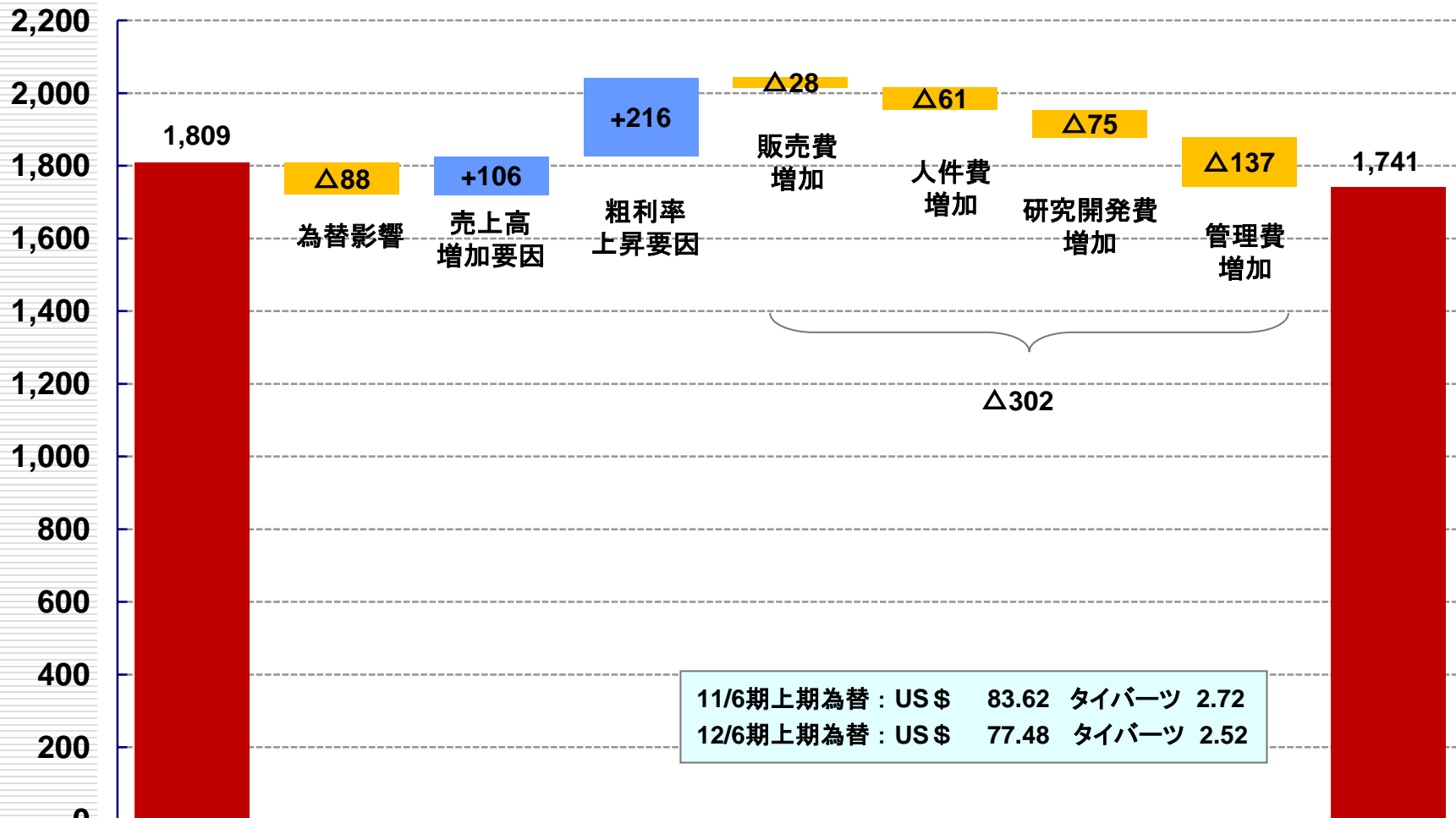
営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)





営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)

(百万円)



11/6期上期為替	US\$ 83.62	タイパーツ 2.72
12/6期上期為替	US\$ 77.48	タイパーツ 2.52

11/6期 2Q累計
営業利益

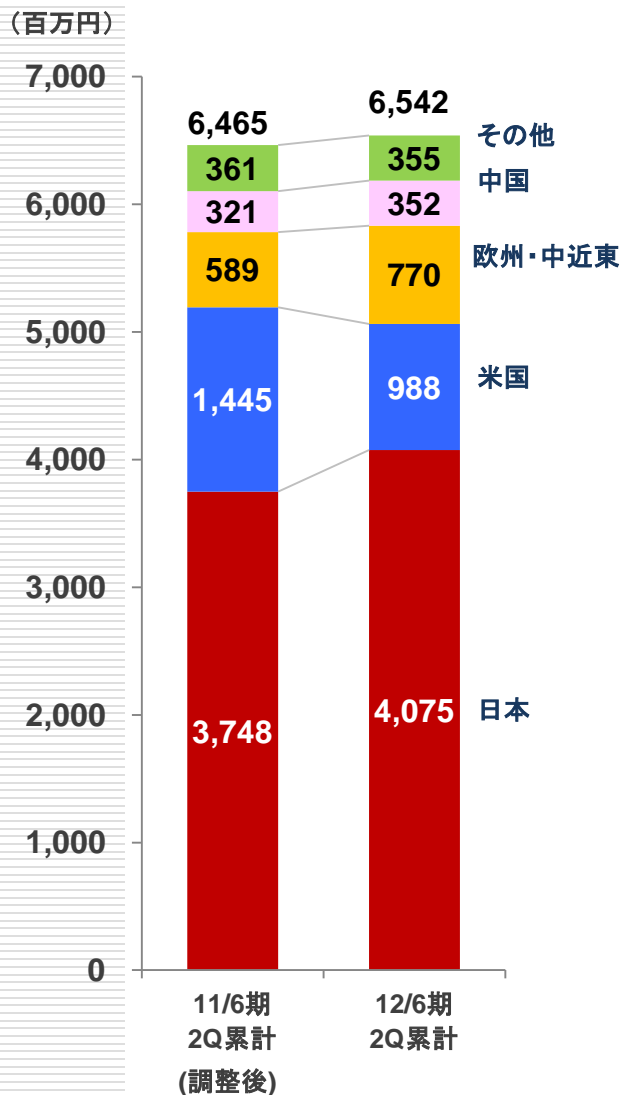
12/6期 2Q累計
営業利益



各事業の状況



メディカル事業の状況(地域別-1)



【売上高】

■ 日本: 直販切替のための供給調整あるも、取引増加に伴い好調に推移

- 下期国内直販化に向けた代理店(SJM社)社内在庫調整のための一時的な供給縮小があるも、PTCAガイドワイヤー“SIONシリーズ”が末端市場では好調に推移
- 貫通カテーテルCorsairの増加
- ポストンサイエンティフィック社向け末梢血管用GWのOEM出荷開始による増加

■ 海外: 円高影響(△148百万円)にあるも、欧州・中国は好調に推移 米国はタイ洪水に伴う一時的な供給調整

- 円高ドル安ユーロ安の影響(△148百万円)
- 米国: ドル安影響に加え、タイ洪水影響に伴うアボット社向けPTCAガイドワイヤー取引の供給調整
- 欧州: ユーロ安影響受けるも、現地代理店切替による在庫補充及び末端市場への供給量が順調に増加
- 中国: ドル安影響受けるも、PTCAガイドワイヤー取引は好調に推移

【営業利益】

- 為替やタイ洪水の影響に加え、直接販売に向けた営業関係費用の投下により販管費が増加



メディカル事業の状況(地域別-2)

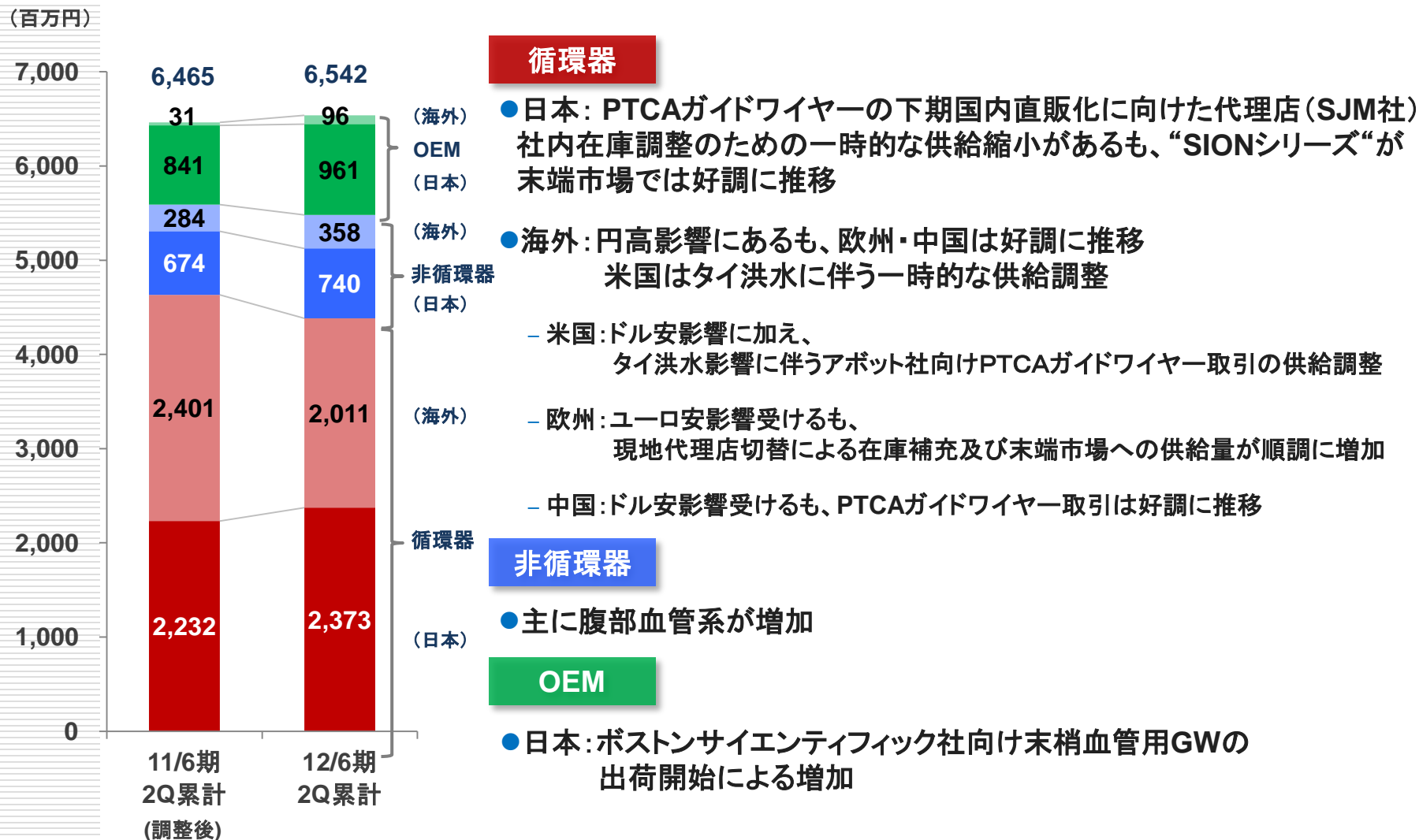
(単位:百万円)

	11/6 2Q累計		12/6 2Q累計	(調整後)前年同期比	
	調整前	調整後*		増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	83.62		77.48	△6.14	△7.3
売上高合計	6,346	6,465	6,542	+76	+1.2
日本	3,712	3,748	4,075	+327	+8.7
海外	2,633	2,717	2,466	△250	△9.2
米国	1,361	1,445	988	△456	△31.6
欧州・中近東	589	589	770	+181	+30.8
中国	321	321	352	+31	+9.7
その他	361	361	355	△6	△1.8
営業利益	1,940	1,989	1,887	△102	△5.1

*: (調整後) 朝日インテック・ジーマ株式会社のセグメント区分変更に伴う影響額を調整



メディカル事業の状況(患部領域別-1)





メディカル事業の状況(患部領域別-2)

(単位:百万円)

	11/6 2Q累計		12/6 2Q累計	(調整後)前年同期比	
	調整前	調整後*		増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	83.62		77.48	△6.14	△7.3
売上高合計	6,346	6,465	6,542	+76	+1.2
循環器	4,634	4,634	4,384	△249	△5.4
日本	2,232	2,232	2,373	+140	+6.3
海外	2,401	2,401	2,011	△390	△16.3
非循環器	838	958	1,099	+141	+14.7
日本	638	674	740	+66	+9.9
海外	200	284	358	+74	+26.2
OEM	873	873	1,057	+184	+21.2
日本	841	841	961	+120	+14.3
海外	31	31	96	+64	+203.8

*: (調整後) 朝日インテック・ジーマ株式会社のセグメント区分変更に伴う影響額を調整



デバイス事業の状況-1

(百万円)

1,600

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

1,464

253

347

378

484

11/6期
2Q累計
(調整後)

1,357

299

338

349

370

12/6期
2Q累計

(海外)

医療部材

(日本)

(海外)

産業部材

(日本)

【売上高】

- 円高ドル安の影響(△44百万円)に加え、タイ洪水に伴う供給閉塞により減少

医療部材

- 米国向けの循環器血管検査用機器に使用する部材供給が増加

産業部材

- 海外向けの自動車市場への部材供給などが増加

- タイ洪水による生産停止に伴い、同業他社などに供給協力を依頼するも、供給が一時期に滞り売上高が全般的に減少

【営業利益】

- セグメント間取引の増加及び販売費及び一般管理費を中心とした経費圧縮により増加



デバイス事業の状況-2

(単位:百万円)

	11/6 2Q累計		12/6 2Q累計	(調整後)前年同期比	
	調整前	調整後*		増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	83.62		77.48	△6.14	△7.3
売上高合計	1,584	1,464	1,357	△106	△7.3
医療部材	720	601	637	+36	+6.1
日本	383	347	338	△9	△2.8
海外	337	253	299	+46	+18.3
産業部材	863	863	719	△143	△16.6
日本	484	484	370	△114	△23.6
海外	378	378	349	△28	△7.7
営業利益	504	454	525	+71	+15.7

*: (調整後) 朝日インテック・ジーマ株式会社のセグメント区分変更に伴う影響額を調整



ご参考：損益の状況

	2011年6月期 2Q累計実績		2012年6月期 2Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	7,930	100.0	7,899	100.0	△30	円高影響△192百万円 タイ洪水に伴う一時的な供給調整あり 国内直販化に向けた供給制限あり
売上原価	2,705	34.1	2,471	31.3	△233	タイ未稼働時の固定費を特別損失振替
売上総利益	5,224	65.9	5,428	68.7	+203	
販管費	3,415	43.1	3,686	46.7	+270	研究開発費用や営業関係費用などの増加
営業利益	1,809	22.8	1,741	22.0	△67	
営業外収益	64	0.8	60	0.8	△4	
営業外費用	160	2.0	73	0.9	△86	為替差損の減少 △81
経常利益	1,714	21.6	1,728	21.9	+14	
特別利益	0	0.0	522	6.6	+522	タイ災害に伴う災害保険金 504百万円
特別損失	37	0.5	1,314	16.6	+1,277	タイ災害に伴う損害による損失 1,156百万円
四半期純利益	1,306	16.5	609	7.7	△696	



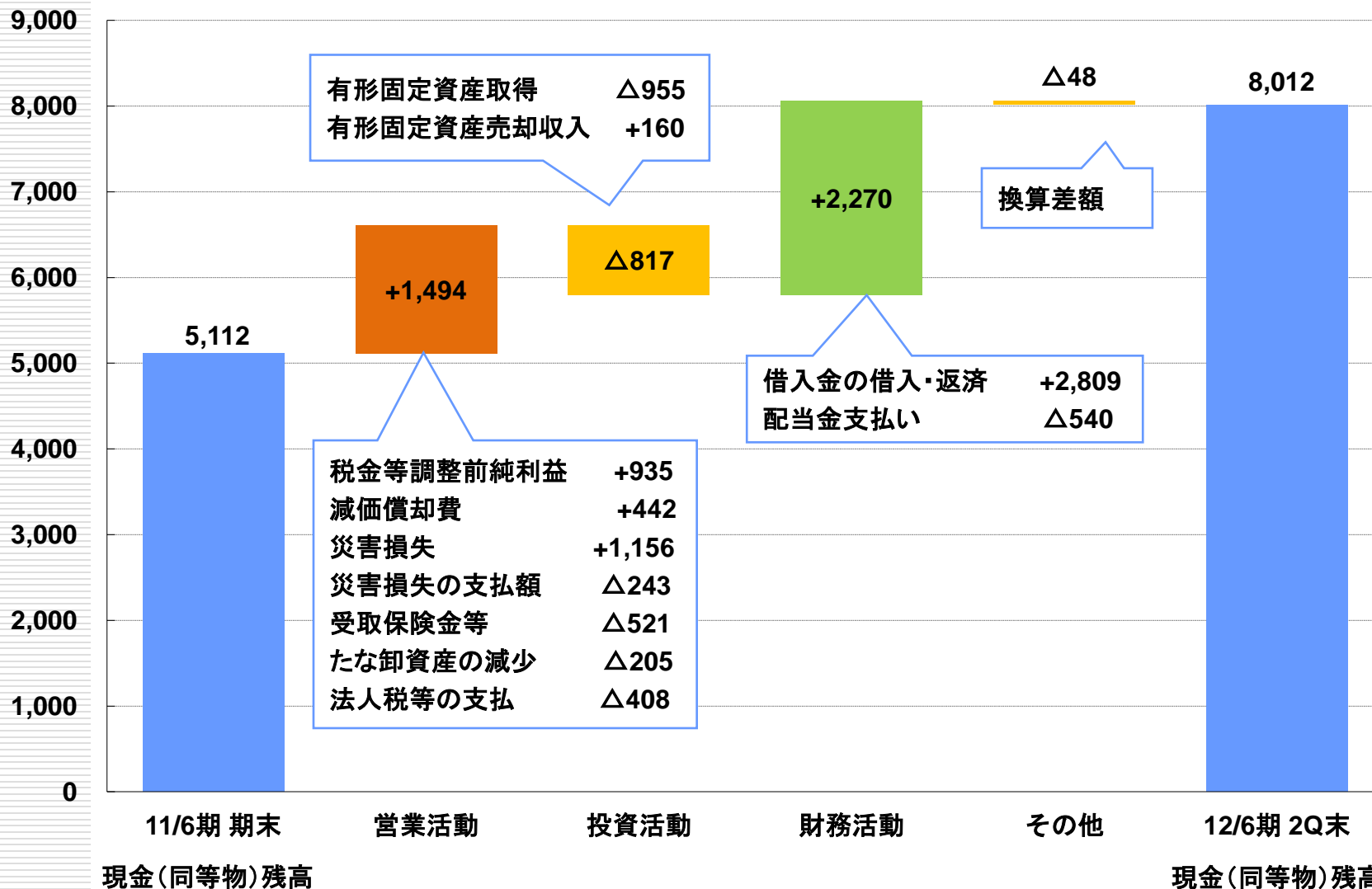
ご参考：財務の状況

		2011年6月期 実績		2012年6月期 2Q末実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	13,687	56.4	16,310	61.8	+2,622	現預金の増加 +2,800 売上債権の減少 △455 棚卸資産の減少 △388
	固定資産	10,592	43.6	10,071	38.2	△520	有形固定資産の減少 △232 投資その他の資産の減少 △243
資産合計		24,280	100.0	26,382	100.0	+2,102	
負債	流動負債	5,103	21.0	5,714	21.7	+611	短期借入金の増加 +877
	固定負債	4,278	17.6	6,140	23.3	+1,862	長期借入金の増加 +1,904
負債合計		9,381	38.6	11,855	44.9	+2,474	
純資産合計		14,898	61.4	14,526	55.1	△371	為替換算調整勘定の減少 △420
負債・純資産合計		24,280	100.0	26,382	100.0	+2,102	



ご参考: キャッシュ・フローの状況

(百万円)





目次

1. 2012年6月期(上期)連結決算の概要

2. 2012年6月期(通期)連結業績見通し



2012年6月期決算の見通し-1

タイ洪水の影響から通期計画を下方修正するも、中長期の成長戦略は変更なし

■ 売上高は14,401百万円(前年同期比△10.0%)を見込む

<増収要素>

- 日本市場: 主力製品PTCAガイドワイヤーの直販化に伴う収益拡大(2012年1月下旬～販売開始)
- 欧州市場: 2011年7月から始まった地域密着型の現地代理店を通じた販売が順調
代理店切替に伴う初期在庫以降のリピート需要が堅調に推移

<減収要素>

- タイ洪水に伴う影響
 - サプライチェーンの停滞影響を補うためにグループ全体の総力をあげて代替生産を実施
 - 末端市場の供給に影響が生じないことを最優先に供給量を調整
 - 代理店の安全在庫が充分にあり、末端市場への供給に影響が生じない製品については、当社グループから代理店への供給を調整
- 日本市場: PTCAガイドワイヤー国内直販化に向けた代理店の倉庫在庫圧縮に伴う供給縮小
病院預け在庫の買取(△602百万円)の発生
- 償還価格約10%の下落(影響額△225百万円)
- 円高に伴う為替の影響



2012年6月期決算の見通し-2

- 営業利益は1,803百万円(前年同期比△44.5%)
 - 将来の成長性を持続し、さらに加速化させるための先行的な費用は継続投下
 - 他の諸費用については全社的に経費圧縮
 - 研究開発費用:カテーテル分野の強化に向けて費用投下(売上高比率12.8%)
 - 営業費用:国内直販化及び海外販売強化に伴う人員及び諸経費の増加

- 経常利益は1,781百万円(前年同期比△43.7%)

- 当期純利益は673百万円(前年同期比△68.9%)
 - タイ洪水に伴う保険金収入(1,404百万円)を特別利益に計上見込み
 - 災害による損失(1,972百万円)を特別損失に計上見込み

為替の前提

11/06(実績)	: US\$ 82.70 円	タイバーツ 2.70 円
11/12(実績)	: US\$ 77.48 円	タイバーツ 2.52円
12/01~(計画)	: US\$ 77.00円	タイバーツ 2.50 円
	Euro 98.00 円	中国元 12.00円
12/06(計画)	: US\$ 77.24円	タイバーツ 2.51 円
	Euro 103.74 円	中国元 12.06円

為替変動による営業利益の影響・概算(主な通貨のみ)

US\$ (+1円の影響) : 約31百万円増加

タイバーツ(+0.1円の影響) : 約50百万円減少

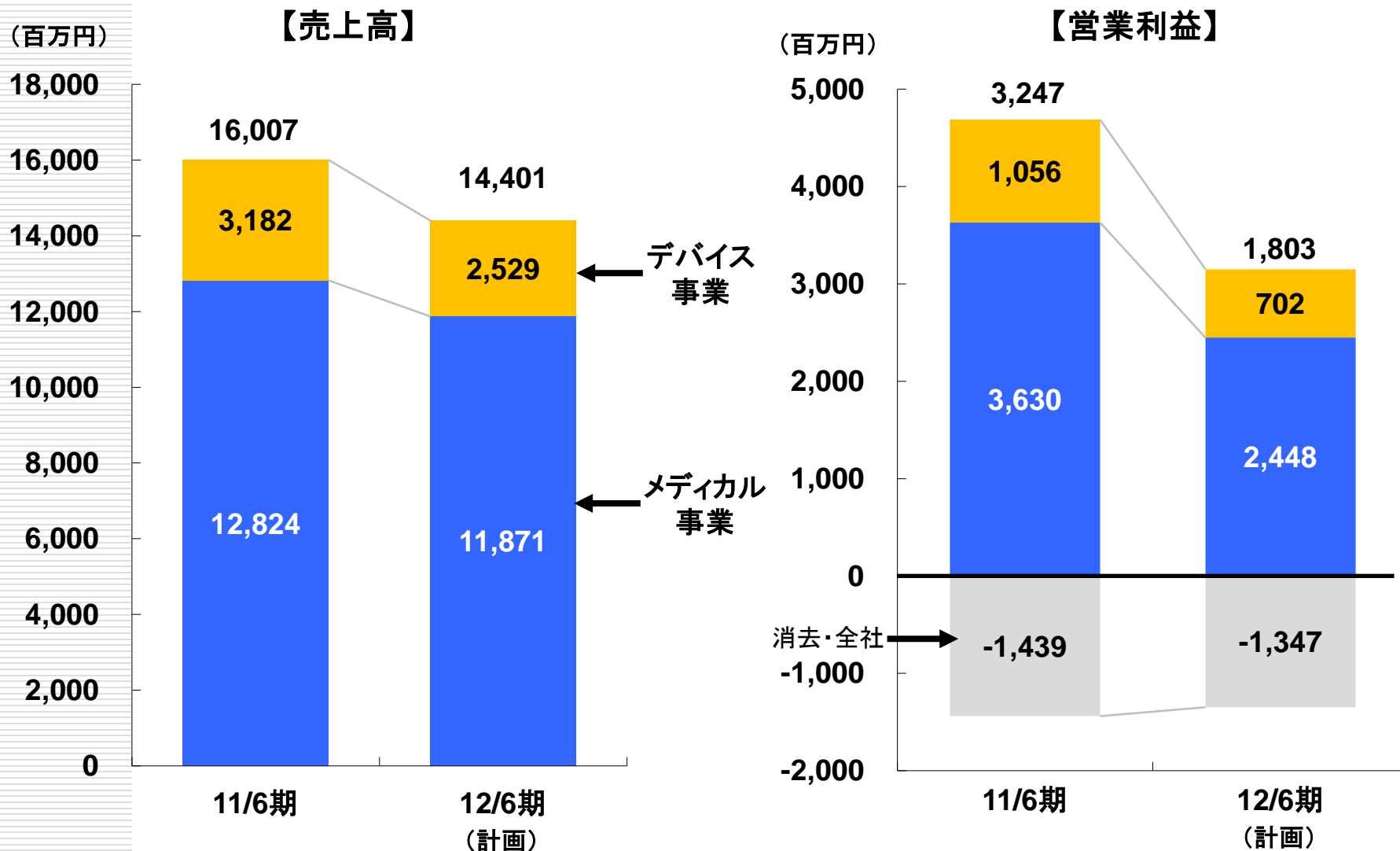


2012年6月期業績見通し

	2011年6月期(実績)		2012年6月期(計画)						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2011/8/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	16,007	100.0	17,061	14,401	100.0	△1,605	△10.0	△2,659	△15.6
売上総利益	10,675	66.7	11,236	9,444	65.6	△1,230	△11.5	△1,791	△15.9
営業利益	3,247	20.3	3,303	1,803	12.5	△1,444	△44.5	△1,500	△45.4
経常利益	3,164	19.8	3,297	1,781	12.4	△1,383	△43.7	△1,516	△46.0
当期純利益	2,161	13.5	2,165	673	4.7	△1,488	△68.9	△1,492	△68.9
EPS	136.36円	-	136.59円	42.45円	-	△93.91円	-	△94.14円	-

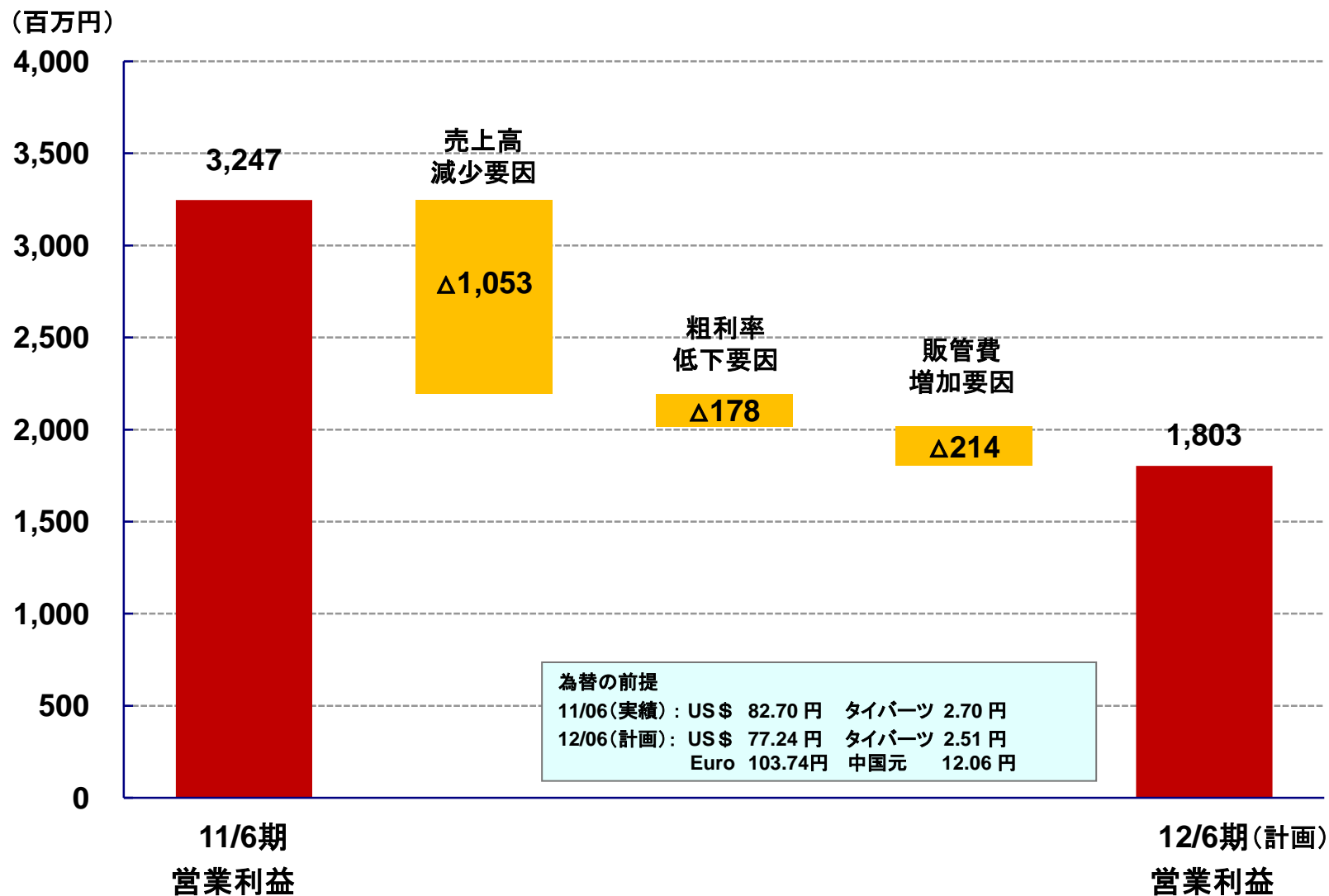


セグメント別の収益見通し





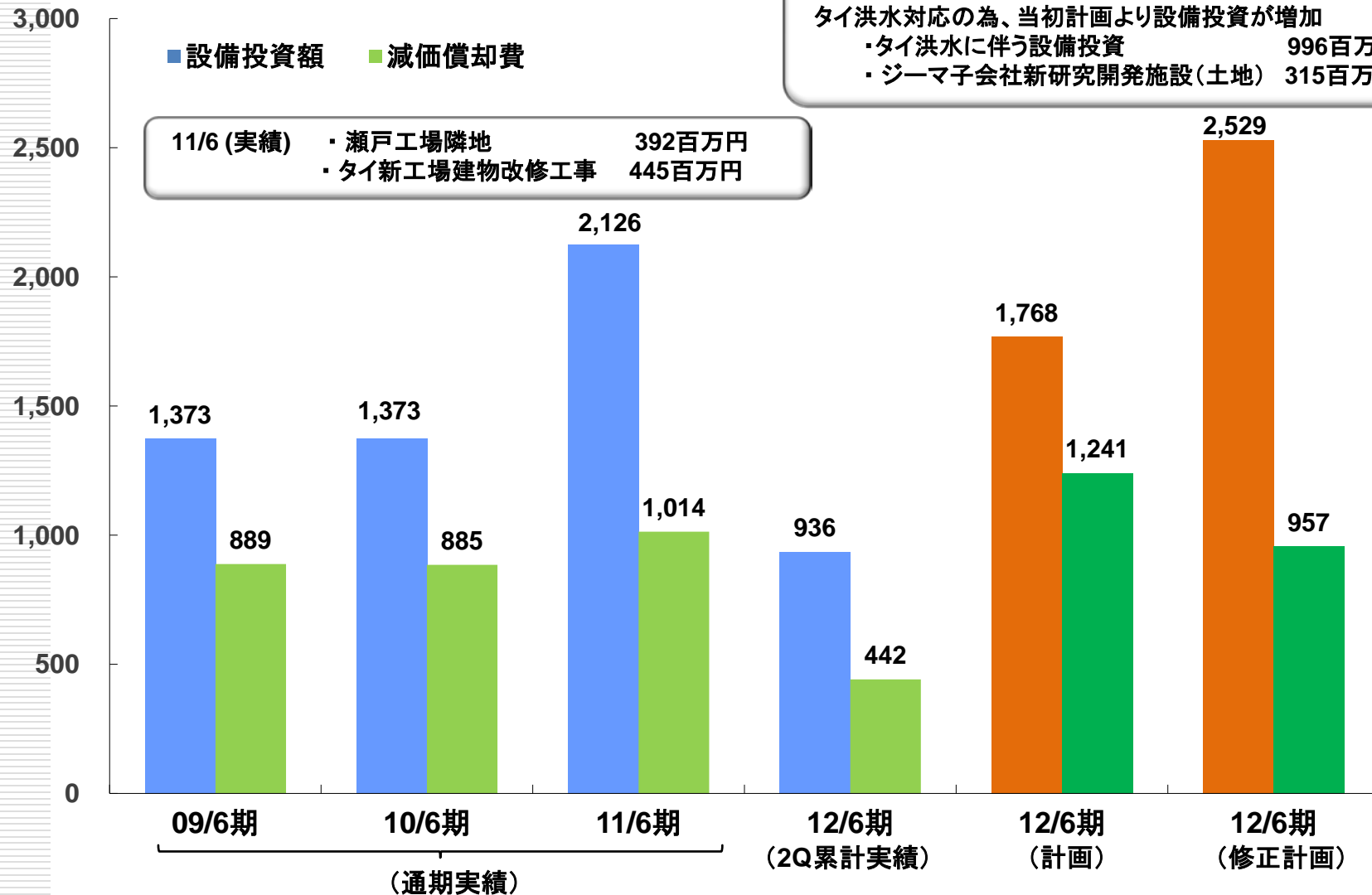
12/6期計画の営業利益増減要因分析





設備投資の実績及び計画

(百万円)

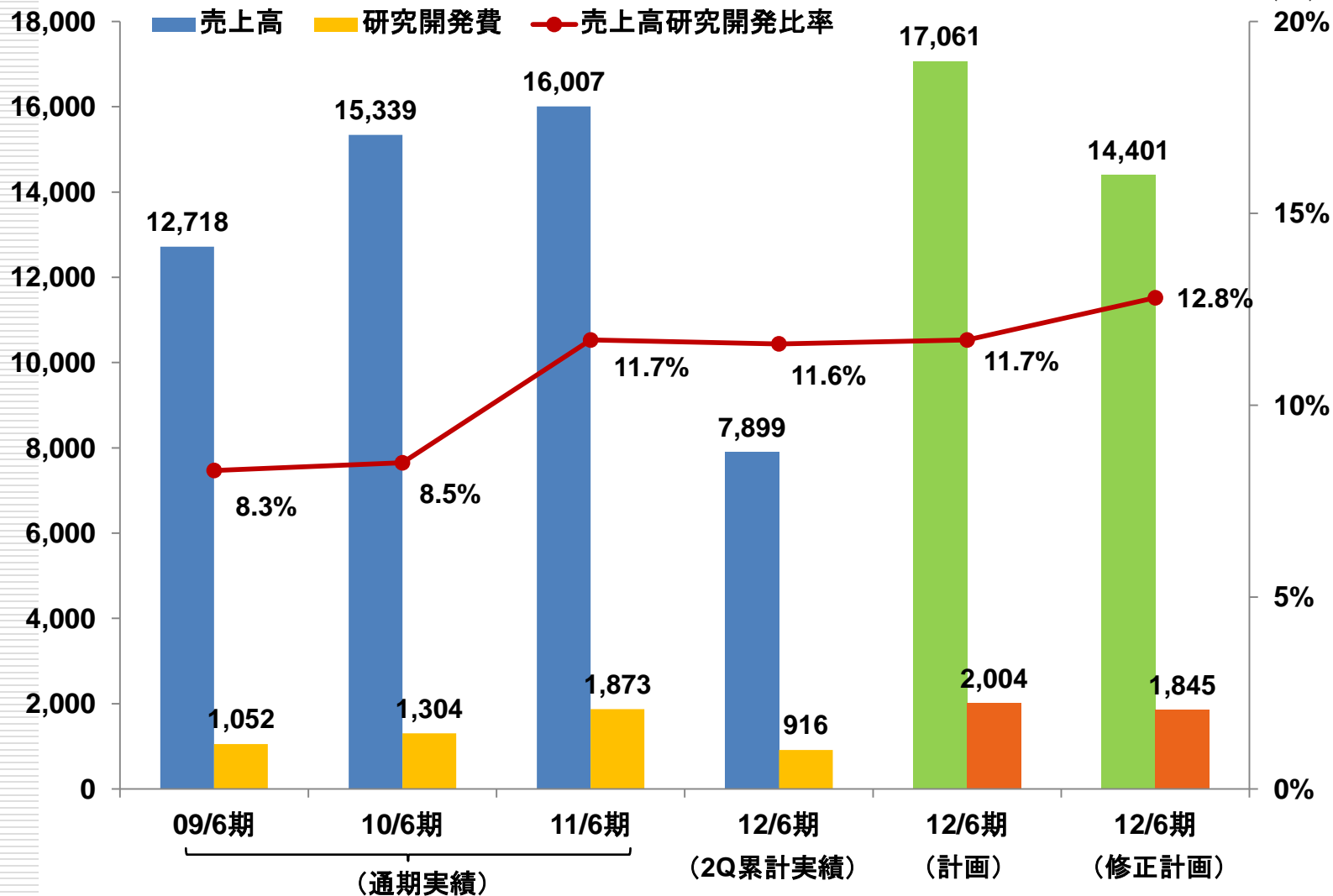




研究開発費の推移

売上高・研究開発費
(百万円)

売上高研究開発比率
(%)





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>